令和６年２月 26 日

保護者のみなさまへ

富田林市立第二中学校
校 長　森 本　崇 寛

令和５年度学校教育アンケートの結果について

解氷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育推進にご支援ご協力を賜りお礼申し上げます。併せて、学校教育アンケートのご協力いただきましたこともお礼申し上げます。

さて、アンケート結果を分析させていただき、その概要と今後の課題についてお知らせをいたします。

令和5年度　学校教育自己診断アンケート　結果

実施:　令和6年1月
回収率:　生　徒　87.0%
　　保護者　62.4%

【生徒アンケート】

項目	肯定的回答(%)	前年比(±)	前々年比(±)
【質問1】学校生活は楽しい。	93	−2	−1
【質問2】二中生はよくあいさつをする。	96	1	2
【質問3】授業は、わかりやすい。	94	−2	−4
【質問4】授業でわからないことを先生に質問しやすい。	88	1	0
【質問5】先生は、質問について親切に答えてくれる。	99	0	0
【質問6】先生は授業をわかりやすくするために工夫している。	98	0	−1
【質問7】学校は、基礎的・基本的な学力が身につくような取り組みを進めている。	99	−2	0
【質問8】宿題は、適切な内容や量になっている。	80	−7	−13
【質問9】通知表は、学習の到達度がわかりやすくなっている。	95	0	1
【質問10】学校は、進路の情報を提供し、進路指導を適切に行っている。	96	−1	3
【質問11】自分の将来について考え学ぶことは、役立っている。	89	−2	−3
【質問12】総合的な学習の時間などで、キャリア教育やいろいろな方と出会い、想いにふれることは、役立っている。	95	0	−1
【質問13】人権の大切さについて学ぶことは、役立っている。	98	1	−1
【質問14】学校は、交通規則や不審者対応など、安全対策について適切な指導・対応をしている。	98	2	2
【質問15】学校は、自然災害や火災の際の避難等対処の仕方について適切な指導・対応をしている。	98	−1	−1
【質問16】環境問題や国際理解などについて学ぶことは、役立っている。	95	−2	−2
【質問17】集団生活や社会のルールについて学ぶことは、役立っている。	97	2	0
【質問18】学校は、校則や生活の規則について適切な指導・対応をしている。	97	3	0
【質問19】いじめなど学校生活の悩みについて、先生に相談しやすい。	88	3	−1
【質問20】先生は、いじめや学校生活上の問題について、適切な指導・対応をしている。	96	3	2
【質問21】生徒は、校内美化を意識し、清掃に取り組んでいる。	98	0	3
【質問22】学校行事は、参加しやすい企画になっている。	96	0	−2
【質問23】生徒会は、活発に活動している。	96	−1	−3
【質問24】先生は、部活動で、熱心に指導してくれる。	92	−1	−3
【質問25】教育方針が、学校だよりや学級通信などでよくわかる。	94	−2	−2

【保護者アンケート】

項目	肯定的回答(%)	前年比(±)	前々年比(±)
【質問1】子どもは、楽しく学校に通っている。	87	−2	−2
【質問2】生徒はよくあいさつをする。	84	3	2
【質問3】子どもは、学校の授業が分かりやすいと言っている。	82	4	10
【質問4】子どもは、授業でわからないことを教室に質問している。	74	11	13
【質問5】教師は、子どもの学習の質問に適切に答えてくれる。	88	2	4
【質問6】授業は、規律がしっかりし落ち着いた雰囲気の中で進められている。	84	−2	−4
【質問7】学校は、基礎的・基本的な学力が身につくように取り組みを進めている。	90	1	2
【質問8】宿題は、適切な内容や量になっている。	79	1	−1
【質問9】通知表は、子どもの学力や到達度がわかるように工夫されている。	88	−3	0
【質問10】学校は、進路の情報を提供し、進路指導を適切に行っている。	85	4	4
【質問11】総合的な学習の時間などで、キャリア教育やいろいろな方と出会い、想いにふれることは役立っている。	89	−4	−1
【質問12】学校は、命を大切にする心や他人への思いやり、人権を尊重する意識を育てようとしている。	87	−1	−8
【質問13】学校は、交通安全や防犯など子どもの安全について適切な指導・対応を行っている。	94	6	2
【質問14】学校は、自然災害や火災の際の対処の仕方について適切な指導・対応を行っている。	96	2	3
【質問15】子どもは、自分の悩みを学校に相談しやすいと言っている。	78	16	20
【質問16】学校は、いじめのない学級づくりやいじめに対して適切な指導・対応を行っている。	72	−13	−13
【質問17】保護者は、自分の子どもについて、学校に相談しやすい。	88	8	4
【質問18】学校は、清掃活動の充実や営繕など学習環境の整備に努めている。	90	−3	0
【質問19】学校は、体育祭や文化祭などの行事を通して、感動する体験を与えている。	94	0	0
【質問20】学校行事・学年行事等は、適切に計画・実施されている。	95	−2	0
【質問21】学校は、生徒会活動など、生徒の自主性の育成に努めている。	91	−7	−4
【質問22】学校は、部活動に熱心に取り組んでいる。	88	−3	−3
【質問23】学校は、授業参観や学級懇談など、保護者と交流する機会を十分に設けている。	87	−4	2
【質問24】ホームページや学校だより、学年通信・学級通信・保健だよりなどで教育方針や学校の様子がよくわかる。	87	−10	−8
【質問25】学校は、家庭や地域と連携・協力して教育の充実に努めている。	89	−4	−2

～分析と考察～

今後も継続していく点

【生徒アンケート】より

ほぼすべての項目で肯定的割合が９０％前後の高水準です。これは、学校の様々な教育活動に対して、多くの子どもたちが前向きに取り組んでいる結果と捉えております。また、教職員と子どもたちとの関係性も一定良好であると判断いたしました。

特に、【質問５,６,７】より、子どもたち一人ひとりの困り感やつまずきに寄り添う姿勢が子どもたちに伝わっていることが大変うれしく感じております。

【保護者アンケート】より

まだまだ割合を見れば改善は必要ではありますが、【質問４,15,17】が前年度より 10 ポイント前後向上しており、教職員と保護者の皆さまとの良好な関係が維持発展に向かっていると判断いたしました。今後とも、同じ方向性で「ともに」子どもたちを育んでいけるよう、保護者の皆さまとのかかわりを大切に教育活動をすすめてまいります。

改善していく点

【生徒アンケート】より

【質問８　宿題は、適切な内容や量になっている】の肯定的割合が低下しております。また、【質問４授業でわからないことを先生に質問しやすい】も他の項目と比較すると肯定的割合が低いです。

この結果より、スモールステップでの指示や目標設定、課題提示に改善の余地があるとの仮説を立て、次年度に向けて取り組みをすすめてまいります。具体的には、本年度より全クラスで実施しているホワイドボードを活用した宿題の見える化、他教科との連携による宿題の総量の平準化、授業の流れの提示だけでなく質問ができる時間保障と質問しやすい学級の雰囲気の醸成、などを推進してまいります。

【保護者アンケート】より

【質問１６　学校は、いじめのない学級づくりやいじめに対して適切な指導・対応を行っている】の肯定的割合が低下しております。これは学校の根幹にかかわる問題であると捉えております。集団の中で誰もが生き生きと過ごすためには、個性尊重はもちろんですが、我慢やゆずり合う気持ち、しんどいときに共に頑張ろうと励ましあえる関係性が必要です。事象が起きてからの対応は時に学校から手を離れてしまいます。特に、SNS 等の問題は学校が手を出してはいけない部分も増えてきています。だからこそ、教職員は事象が起こる前の気づきによりいっそうアンテナをはり、子どもたちに安心感を与えるとともに、小さなトラブルは子どもたち同士で問題解決できるよう、思いを聞き、伝え、共感しつつ、みんなが少しずつゆずり合って、よりよい解決を探る機会を増やしていきます。